

# 平成 28 年度 生態学研修 (応用コース) ご案内

このたび、IGES 国際生態学センターは、森づくりや自然再生などの活動を技術的に支えるリーダー的人材の育成をねらいとし、生態学研修 (応用コース) を開講します。本コースでは、近年、都市や工業地帯で重要な役割が期待されている「環境保全林」に焦点をあて、その創造にまつわる概念、理論、方法などについて講義・実習を通して理解を深めます。皆様のふるってのご参加をお待ち申し上げます。

## 日程：平成 28 年 11 月 8 日 (火) 会場：横浜情報文化センター (大会議室)

10:30-12:00	森林再生と生物多様性 村上 雄秀 (IGES 国際生態学センター 上席研究員)
13:00-14:30	環境保全林づくりの手法 矢ヶ崎朋樹 (IGES 国際生態学センター 研究員)
14:45-16:15	環境保全林の構造と機能 原田 洋 (横浜国立大学名誉教授)
16:30-18:00	環境保全林の自然性評価 原田 洋 (横浜国立大学名誉教授)

## 平成 28 年 11 月 9 日 (水) 会場：横浜国立大学 (現地集合・現地解散)

10:00-11:30	環境保全林創造の事例—横浜国立大学キャンパスの森 (野外視察) 持田 幸良 (放送大学神奈川学習センター 客員教授)
13:00-14:30	環境保全林を調べる (野外実習) 持田 幸良 (放送大学神奈川学習センター 客員教授)
14:40-16:10	環境保全林における CO <sub>2</sub> 固定量の評価 (室内講義) 持田 幸良 (放送大学神奈川学習センター 客員教授)

## 平成 28 年 11 月 10 日 (木) 会場：横浜情報文化センター (大会議室)

10:00-11:30	環境保全林の事例と樹木の生長解析 目黒 伸一 (IGES 国際生態学センター 主任研究員)
13:00-14:30	樹木の防火・耐火特性 林 寿則 (IGES 国際生態学センター 研究員)
14:45-16:15	みどりの環境戦略 鈴木 邦雄 (IGES 国際生態学センター センター長)
16:15-16:30	閉講式・修了証授与

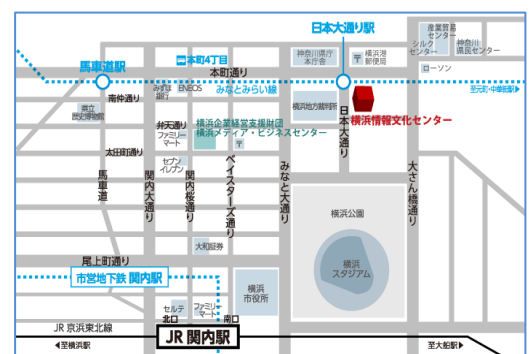
参加費：一般 14,000 円 (学生 7,000 円) [3 日間]

募集人員：20 名 (申込先着順)

申込方法：申込票に必要事項 (お名前、ご住所、電話・FAX 番号、メールアドレス、年齢、ご所属) を記載の上、ファックス、メールのいずれかで下記までお申し込み下さい。後日「払込用紙」を送らせていただきますので、郵便振替にて参加費をお支払い願います。申込票は下記のウェブサイトより入手できます。

※本コースは個人の知識や技能を高めることをねらいとした技術研修です。全ての講義を受講された方には、最終日に修了証を授与します。

公益財団法人地球環境戦略研究機関 国際生態学センター  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-14-27 新横浜第一ビルディング 3 階  
Fax. 045-472-8810 Mail: ecoinfo@jise.jp (担当：大槻)  
お問い合わせ Tel. 045-548-6270 (受付時間 月～金 9 時 30 分～18 時)  
ご案内ウェブサイト: [http://www.jise.jp/info/info\\_H28kenshuu2.html](http://www.jise.jp/info/info_H28kenshuu2.html)



### 室内講義会場 (横浜情報文化センター) のご案内

- ・みなとみらい線 「日本大通り駅」3 番出口より 徒歩 0 分
- ・JR 「関内駅」南口 または 横浜市営地下鉄 「関内駅」1 番出口より 徒歩 10 分

# 講師紹介



## 鈴木 邦雄 (すずき くにお)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター センター長／横浜国立大学名誉教授

理学博士 (東北大学)

1948年、宮城県生まれ。1970年東北大学理学部卒業後、横浜国立大学助手、助教授、教授、学長を歴任し、2016年9月より現職。熱帯アジアのマングローブ、泥炭湿地生態系を対象とした生態学的調査研究をはじめ、企業の環境戦略や地域環境計画、ミティゲーションなどに関して、生態学の視点から調査研究を進めている。著書には、『エコマネジメント入門』(単著、有斐閣)、『水に浮かぶ森』(単著、信山社)、『エコマテリアル学』(共著、日科技連)、『環境共生型社会のランドデザイン』(共著、NTT出版)、『マネジメントの生態学』(単著、共立出版)、『熱帯生態学』(共著、朝倉書店)などがある。



## 原田 洋 (はらだ ひろし)

横浜国立大学名誉教授

学術博士 (北海道大学)

1946年、静岡県生まれ。横浜国立大学教育学部卒業後、横浜国立大学助手、助教授、教授を経て、現在、横浜国立大学名誉教授。土壌動物の生態をはじめ、環境保全林の機能評価や過去の植生景観を題材とした研究成果が多数ある。著書には、『自然を調べる』(監修・共著、木馬書館)、『現代日本生物誌 マツとシイ』(共著、岩波書店)、『植生景観史入門』(共著、東海大学出版会)、『小さな自然と大きな自然』(単著、東海大学出版会)、『環境保全林—都市に造成された樹林のつくりとはたらき』(共著、東海大学出版会)、『土壌動物—その生態分布と多様性』(共著、東海大学出版会)などがある。



## 持田 幸良 (もちだ ゆきら)

放送大学 神奈川学習センター 客員教授／横浜国立大学名誉教授

理学博士 (東北大学)

1950年、神奈川県生まれ。1976年横浜国立大学教育学部卒業後、東北大学理学部助手、横浜国立大学助教授、教授を経て、2016年より現職。この間、文部省第28次日本南極地域観測隊員(生物医学担当越冬隊員)(1986~1988)などを歴任。マングローブ生態系の維持機構・保全修復に関する国際共同研究のほか、植物群落の種組成・構造・立地環境を重視した植生保全や修復のための教育研究にたずさわる。著書には、『環境教育—基礎と実践—』(分担執筆、共立出版)、『しぜん博士「植物編」』(監修、理英会出版)などがある。



## 村上 雄秀 (むらかみ ゆうひで)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 上席研究員

博士(学術)(広島大学)

1955年、東京都生まれ。1977年立教大学理学部卒業。財団法人国際生態学センター主任研究員(1993-1999年)、同センター専門研究員(2000-2007年)を経て、現職。IGES 国際生態学センターでは「アジア・太平洋地域を中心とする植生体系の調査・研究」、「生物多様性の保全に関する植生学的研究」を担当。近年は、東日本大震災復興のための植生調査にも取り組んでいる。著書には『日本植生誌全10巻』(分担執筆、至文堂)、『図説 日本の植生』(分担執筆、朝倉書店)、『環境保全林形成のための理論と実践』(分担執筆、国際生態学センター)などがある。



## 目黒 伸一 (めぐろ しんいち)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 主任研究員

博士(工学)(横浜国立大学)

1964年、神奈川県生まれ。1988年横浜国立大学工学部卒業。財団法人国際生態学センター研究員(1993-2000年)、同センター主任研究員(2000-2007年)を経て、現職。IGES 国際生態学センターでは「熱帯林等に関する生態学的調査・実験研究」、「森林の機能・構造に関する調査・研究」を担当。海外ではマレーシア、アフリカ・ケニアなどの森林調査プロジェクトにたずさわる。著書には、『環境保全林形成のための理論と実践』(分担執筆、国際生態学センター)、『地球診断』(分担執筆、講談社)などがある。



## 林 寿則 (はやし ひさのり)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 研究員

博士(環境学)(横浜国立大学)

1967年、神奈川県生まれ。1991年日本大学農獣医学部農学科卒業。民間建設会社、財団法人国際生態学センター研究員(2002-2007年)を経て、現職。専門分野は植生生態学、植生工学(防火機能評価)。IGES 国際生態学センターでは「植生資源の評価と認知に関する研究」を担当。樹木の燃焼性状や遮熱効果等に関する実験に着手する。主な論文に「火災近傍の樹木による背後での受熱量の低減効果に関する実験研究」(日本緑化工学会誌 vol. 38)、「有風燃焼条件下における樹木の燃焼性状と遮熱機能に関する実験研究」(生態環境研究 vol. 21・22)などがある。



## 矢ヶ崎 朋樹 (やがさき ともき)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 研究員

博士(環境学)(横浜国立大学)

1973年、神奈川県生まれ。1997年横浜国立大学教育学部卒業後、(財)国際生態学センター研究員(1998-2007年)を経て、現職。IGES 国際生態学センターでは「地域生態系の構造と動態およびその評価に関する研究」を担当。生物多様性や植物利用にまつわる村落住民の知恵・技術や生態系サービスの評価をテーマに調査・研究を進めている。研究員着任当初から人材育成事業にたずさわり、研修コースや環境学習会、講座等の企画立案から実地指導まで幅広く取り組んでいる。本研修ではコースリーダーを務め、全行程に同行する。

## 環境保全林(視察・実習予定地)と過去の研修のようす



横浜国立大学の環境保全林



持田講師による講義



野外実習の様子



野外実習の様子

**主催者より** 本コースは全プログラム(3日間)にご参加の方を優先的にお申し込みを受け付けます。10月31日時点で定員に達していない場合は、単日参加のお申し込み(一般5,000円/日、学生2,500円/日)を受け付けます。